

令和6年度決算 事業体系図

所属名： 企画政策課

(単位：千円)

款	項	目	事業番号	事業名	最終予算現額	決算額
2 総務費	1 総務管理費	2 文書広報費	10	情報発信	8,179	6,352
			1540	惑星コトウラ若手職員提案事業	711	385
			小計		8,890	6,737
2 総務費	1 総務管理費	6 CATV管理費	15	光ケーブル施設維持管理事業	107,055	54,086
			1022	防災行政無線システム維持管理	3,180	3,079
			小計		110,235	57,165
2 総務費	1 総務管理費	7 企画費	17	企画関係事務	474	342
			618	琴浦町総合計画・過疎計画・地方創生戦略事業	5,213	4,888
			1143	官学連携事業	43	15
			1160	琴浦町男女共同参画推進事業	411	279
			1229	縁結び事業	200	200
			20	国際交流の推進	822	761
			38	地域交通対策事業	105,080	104,023
			1578	駅舎活用・駅前魅力化事業	50,650	3,853
			1193	地域おこし協力隊員活動事業	4,689	2,528
			1195	町内地域づくり団体の連携	1,920	1,680
			1330	地域づくり事業	6,127	4,789
			902	移住定住促進事業	22,336	20,445
			414	関係人口創出事業	1,966	886
1411	熱中小学校事業	3,299	3,299			
		小計	203,230	147,988		
2 総務費	1 総務管理費	8 地域振興費	1616	以西地区まちづくり事業	4,917	4,829
			小計		4,917	4,829
所属合計					327,272	216,719

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	10	事業名	情報発信	会計区分	一般会計		
担当課	企画政策課		担当係	SDGs推進室	□新規 ■継続		
予算区分	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	2 文書広報費	
まちづくりビジョン	(6) 町民の声が届き、ともに創る未来のまちづくり			① 町民に伝わる情報発信と情報共有			
	重点事業 情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	8,179	6,352	0	0	410	0	5,942
事業の目的 (なんのために)	<ul style="list-style-type: none"> 毎月1回、町広報紙「広報ことうら」を発行し、行政情報や町の魅力を発信します。 ホームページの安定的なシステム稼働を図るため、システムの維持管理を行い、情報を公開します。 						
細事業等	内容			決算額 (千円)	財源内訳		
日本広報協会 会費	日本広報協会への加入により、広報研修への参加等、広報に関する情報収集を行いました。			15	単町		
消耗品費	広報紙制作に要する書籍やカメラ用アクセサリ等を購入をしました。			18	単町		
ホームページ運用管理費	ホームページ保守運用 343千円 ・行政情報の発信を安全に行うため、保守運用を行いました。 ・スライドショーや注目情報を活用し、その時々で必要な情報や旬の情報を発信しました。			343	その他 105 町 238		
LINE保守管理費	LINE機能拡張ツール保守・運用管理 1,716千円 ・LINEを活用したサービスを提供するシステム「KANAMETO」を活用した情報発信を安定的に行うため、システムの保守管理を行いました。 ・ユーザーへの利便性を図るため、受信設定機能、メニュー切替機能、災害時の被災箇所通報機能、予約受付機能、アンケート機能の運用を行いました。			1,716	単町		
各種SNS等を活用した情報発信	SNSの運用 ・町公式LINEで防災情報やイベント情報等の発信を行いました。 ・FacebookはInstagramとの連携を行いました。 ・動画を使ってわかりやすくまちの情報を伝えるため、YouTubeを活用し情報発信しました。			0			
町勢要覧発行費用	町勢要覧印刷製本費 583千円 ・関係各所への配付用として2022年に作成した町勢要覧を1,000部増刷しました。			583	単町		
広報紙発行経費	広報ことうらの発行 印刷製本費 3,677千円 広報紙(6,100部):3,630,781円 電子書籍:46,200円 ・行政情報をはじめとし、まちの話題やまちの魅力を発信する町広報紙「広報ことうら」を毎月6,100部発行し、各世帯へ配布しました。 ・毎月開催する広報・情報発信チーム会議で、広報紙で取り上げる内容や表現方法などについて確認するとともに、効果的な情報発信に向けた検討を行いました。 ・年度末には、翌年度の広報広聴計画を作成し、特集記事等を決定しました。			3,677	その他 305 町 3371		
合計				6,352			
事業の主な実施状況	広報ことうらの発行						



ホームページ保守運用



SNSの運用



事業目的の
達成状況

担当課による評価

A 相当程度進展あり

【前年度の課題の概要】

- ①町の課題や取り組みを町民に理解していただくため、政策的な特集記事の掲載、わかりやすい記事の作成を継続して行う必要があります。
- ②ホームページCMSのリニューアルについて検討を行う必要があります。

	<p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>①町の事業や取り組みを特集記事にして掲載しました。 ②ホームページCMSリニューアルについて広報・情報発信チーム会議などで意見を集めました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>町広報紙と行政放送、SNSを活用し、幅広い世代に向けた行政情報や町の魅力の発信に努めました。 より使いやすくなるよう、ホームページのリニューアルについて検討を行いました。 多様な媒体を活用した情報発信を進めることができたため、相当程度進展ありと評価しました。</p>
<p>今後の取り組み の方向</p>	<p>①町の課題や取り組みを町民に理解していただくため、政策的な特集記事の掲載、わかりやすい記事の作成を継続して行う必要があります。 ②広報誌、ホームページ、SNS等の情報媒体活用ルールを整理するなど、ターゲットに向けて情報が伝わるような仕組みづくりを検討します。</p>

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1540	事業名	惑星コトウラ若手職員提案事業		会計区分	一般会計		
担当課	企画政策課		担当係	企画担当		□新規 ■継続		
予算区分	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	2 文書広報費		
まちづくりビジョン	(6) 町民の声が届き、ともに創る未来のまちづくり				① 町民に伝わる情報発信と情報共有			
	重点事業	情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	711	385	0	0	300	0	85	
事業の目的 (なんのために)	様々なメディア露出、サウナ等の来客コンテンツの充実により注目度が全国的に上がっている琴浦町。惑星コトウラの町内の理解度をあげ、行政職員、町民が広報を自発的に出来るような環境づくり、町外へのPRを強化することにより、全国的な知名度のさらなる向上を目指します。							
細事業等	内容		決算額 (千円)	財源内訳				
PR事業	<p>広報誌やSNSを用いた情報発信、また町内企業と協働し、惑星コトウラの「ロゴマークの浸透」と町の魅力再発見による「シビックプライドの醸成」を図りました。</p> <p>① 惑星コトウラPR事業 128千円</p> <p>■広報誌掲載 探索惑星コトウラ！をvol.25～30、BUYコトウラをvol.11～17まで発行しました。</p> <p>■公式ホームページ管理運営・SNS更新 ・公式ホームページでまちで活躍するヒトや、モノを紹介する記事を投稿しました 12回 ・Instagram フォロワー 1,378人（前年比約19%増）</p> <p>■地域学習 生まれ育った町の魅力を再発見してもらうため、地域の小中学生に対し、惑星コトウラの出張授業を行いました。 ・3回</p> <p>■ノージーのひらめき工房とのコラボによる活動PR 琴浦町生誕20周年記念事業のNHK公開収録にてブース出展し活動をPRしました。惑星コトウラのキャラクターステッカーが入ったガチャガチャを用意し、参加した子どもが楽しめるよう工夫しました。</p> <p>■海岸清掃による環境保全活動 惑星コトウラの環境保全を目的として、団体が主催される海岸清掃に積極的に参加しました。 【参加実績】日本列島クリーン大作戦</p>		128	その他100 町28				
衛星探索事業	<p>県外の若者を巻き込みIUターンの促進及び関係人口創出を行いました。琴浦町に関心のある町外在住の学生・社会人が琴浦町と繋がりをつくるためのイベント「コトトーク」の開催や、惑星コトウラ公式Instagramを活用した情報発信を行いました。</p> <p>惑星コトウラ衛星探索事業 257千円</p> <p>■Instagram リール動画毎月配信：15回 視聴回数：33,751回 その他町のイベントに関する情報発信も積極的に行いました。</p> <p>■東京遠征イベント TNGプロジェクトチームと、ふるさと鳥取県定住機構、鳥取県中部の若手企画担当等が連携し、都市部に居住する鳥取県中部各市町の関係人口や移住検討者を対象に、まちの魅力を発信するイベントを開催しました。コトウラファンサポーターからも3名参加され、他市町の関係人口とも交流ができたことで新たな関係人口創出に繋がりました。</p>		257	その他200 町57				
合計			385					
事業の主な実施状況	<p>① 惑星コトウラPR事業</p> <p>■広報誌掲載</p>							



■公式ホームページ管理運営・SNS更新



■ノーजीのひらめき工房とのコラボによる活動PR



■惑星コトウラ地域学習



■海岸清掃による環境保全活動



② 惑星コトウラ衛星探索事業 256千円

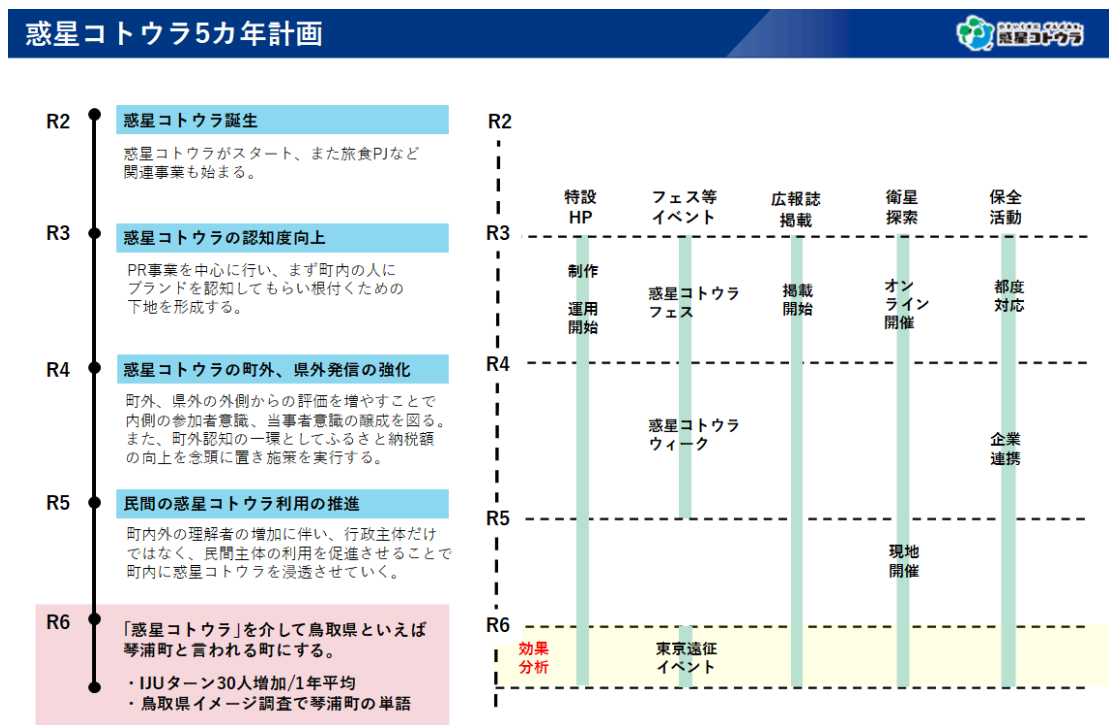
公式Instagramでのリール動画



■東京遠征イベント



■惑星コトウラ若手職員提案事業 TNGプロジェクト (R2~R6の5カ年事業)



■ 県外からの移住者数

▶▶▶ TNG結成後

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
移住者数	122	119	120	121	114	151	170	190	148
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
移住相談件数	28	-	38	19	20	52	97	92	62

琴浦町移住定住の以前の特徴

- 高校卒業を機に、進学や就職等ほとんどが 近畿地方、中四国地方へ移住。
- 定年退職者が出身地の琴浦町へUターン移住するため、Uターン移住が多い。

琴浦町移住定住の現在の特徴

- 若者(20-40代)の移住者が全体の**80%**ほどに増加。
- UターンとIターンが同等の割合。(Iターン者の増加)
- 近隣地方だけでなく、関東地方での移住者も増加。



活動報告 〈PR事業〉



ミッション

広報紙やSNSを用いた情報発信、また町内企業と協働することで「ロゴマークの浸透」とまちの魅力再発見による「シビックプライドの醸成」をはかる。

支出経費

R2～R6合計 2,650,117円

活動概要

(1) 広報紙コーナー掲載（毎月1P掲載） 記事総数：40記事

まちの新たな発見や職員と地元とのつながりづくりなどを目的にまちで活躍するヒト・モノを紹介する広報コーナーを連載した。

(2) Instagram・ホームページ運営

魅力の再発見や地域の盛り上げを目的に惑星コトウラの情報発信を行った。

○令和3年5月開設 / 投稿数：244件 / フォロワー：1,364人

○フォトコンテスト実施（計2回実施）

令和5年5月～8月 応募数：155件 / 当選者6名

令和5年10月～1月 応募数：88件 / 当選者6名

(3) 企業コラボ

惑星コトウラの浸透や地元活性化を目的に地元事業者と商品開発を行った。

○ワク珈琲(ふるさと納税商品化、渋谷のギフトショップでも販売)

○パティスリーモンテ(食パラダイス鳥取県優秀賞受賞)

活動実績

■ 令和3年度

・惑星コトウラフェス(2拠点ブース出展。フォトブース。活動PR)

■ 令和4年度

・惑星コトウラウィーク出展(ワク珈琲試飲アンケート)

・ワク珈琲コラボ商品「kotouraブレンド」開発

■ 令和5年度

・Instagramフォトコン実施

・モンテコラボ商品「琴ノ菓」開発

■ 令和6年度

・ノーゾーのひらめき工房(令和6年7月)

・ブース出展。活動PR。ガチャガチャ実施。

・認知度アンケート実施(回答数61・認知度39.4%)

◆ 各種メディア出演

・日本海新聞(令和3年3月)…「今年の注目の仕事」掲載

・BSS山陰放送(令和4年4月)…「レポート山陰」取材

・BSよしもと(令和4年10月)…となりマッチ出演



活動報告 〈PR事業(旧保全事業)〉



ミッション 既存のボランティア活動や清掃活動を惑星コトワラの保全活動としてPRしていくことで住民参加の機会を増やす。

支出経費

R2～R6合計 12,100円

活動実績

- 令和3年度
 - ・小学生と海岸清掃参加
 - ・赤小5年生フィールドワーク活動参加
 - ・惑星コトワラ給食コラボ
 - メンバーによる惑星コトワラ紹介。PRチラシ配布。アンケート実施。
- 令和4年度
 - ・オオキンケイギク撤去作業
 - ・日本列島クリーン大作戦参加
 - ・ニッスイ共生の森参加
 - ・いさい軽トラ市ブース出展
 - ・農業ボランティア体験ツアー参加
- 令和5年度
 - ・日本列島クリーン大作戦参加
 - ・大父木地親水公園池清掃
 - ・ゴミ拾いウォーキング実施
 - グルメdeめぐるウォーク参加者215名
- 令和6年度
 - ・日本列島クリーン大作戦参加

活動概要

(1)環境活動

環境美化活動をおして惑星コトワラの魅力を伝え、まちへの愛着心の醸成を図った。

- 小学生の環境学習とコラボし、惑星コトワラPRを兼ねた学習と海岸清掃
- 地域の清掃活動や企業の環境活動に参加

(2)イベント参加

地域のイベントにブース参加することで、惑星コトワラやTNGの活動PR活動を行った。

(3)その他

- 惑星コトワラ給食実施時にTNGメンバーが出向いて、惑星コトワラのロゴや込めた想いなどを紹介するなど、PR活動を行った。
- 小学校の課外授業や給食コラボ



活動報告 〈衛星探索事業〉



ミッション 県外の若者を巻き込みIUターンの促進、関係人口の創出を行う。

支出経費

R2～R6合計 595,687円

活動実績

- 令和3年度
 - ・コトトーク！配信数：8件/参加者：72人
 - ・コトトーク！観光しないツアーを開催
 - 令和4年度
 - ・コトトーク！観光しないツアー第2段を開催
 - ・若い鳥取応援団とコラボトークショー
 - ・インスタライブ配信：9回/視聴者数：330人
 - ・リアル動画配信：12回/視聴回数：28,237回
 - 令和5年度
 - ・コトトーク！in東京 集客数300人
 - ・インスタライブ配信：18回/視聴回数：14,594回
 - ・リアル動画配信：8回/視聴回数：11,494回
 - 令和6年度
 - ・東京遠征…鳥取の真ん中の魅力を知ろう！（惑星コトワラPR）
 - ・リアル動画配信：15回/視聴回数：33,751回
- コトワラファンサポーター登録者数 19名

活動概要

(1)関係人口の創出、ファンづくり

地元だけではなく、琴浦町に関心のある町外在住の学生・社会人が琴浦と繋がりをつくるためのイベント『コトトーク！』を開催。イベントを通じて琴浦町とのつながりを深め、参加者が琴浦町と繋がる機会を創出。

- コトトーク！ 配信数：10件/参加者92人
- コトトーク！in東京 集客数300人
- コトワラファンサポーターも参加あり

(2)ファンに向けた情報発信

惑星コトワラ・琴浦町の認知拡大を目的として、情報提供のためのネット配信を実行。

- インスタライブ配信 配信数：27件/視聴回数：14,924回
- リアル動画の発信 投稿数：35件/視聴回数：73,482回



発足当初に定めた全体目標値である「移住者数増加（IUターン30人増加/1年平均）」「イメージアップ」については、定性的・定量的にも達成したため、5年間の活動をもって事業終了となります。

事業目的の達成状況

担当課による評価

S 目的達成

【前年度の課題の概要】

惑星コトワラの町内の理解度をあげ、行政職員、町民が広報を自発的に行えるような環境づくり、町外へのPRを強化することにより、全国的な知名度のさらなる向上を目指す必要があります。

【前年度課題についての対応及び成果】

内部の活動だけでなく、町民や民間企業にスポットライトをあてた活動を積極的に実践できました。多くの媒体で琴浦町をPRすることができました。

	<p>【担当課による評価の理由】</p> <p>継続的なPRの成果もあり、都市部の方に琴浦町及び「惑星コトウラ」を認知していただきました。他自治体やメディアからの問い合わせも多数あり、琴浦町の注目度向上に大きく貢献したと実感しています。5年間の様々な事業を通して、課を超えた若手職員の連携力向上と課題解決の実践と意識づけができました。</p>
<p>今後の取り組み の方向</p>	<p>TNGプロジェクトが進めてきた町の情報発信や地域活動は、今後新たな地域おこし協力隊を募集し、町のブランディングを進めていきます。</p>

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	15	事業名	光ケーブル施設維持管理事業		会計区分	一般会計
担当課	企画政策課	担当係	SDGs推進室		□新規 ■継続	
予算区分	款 2 総務費	項	1 総務管理費		目	6 CATV管理費
まちづくりビジョン	(6) 町民の声が届き、ともに創る未来のまちづくり		① 町民に伝わる情報発信と情報共有			
	重点事業					

年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	104,217	51,248	0	0	26,524	0	24,724
令和6年度(明許)	2,838	2,838	0	2,770	0	0	68

事業の目的(なんのために) 光ケーブル施設の適切な維持管理を行い、行政情報及び地域情報等の提供を通じ、高度情報化社会に適応した住みよい町づくりを推進します。

細事業等	内容	決算額(千円)	財源内訳
その他	・火災保険料 724千円 ・広域光ケーブル負担金 48千円	772	単町
ONU購入業務	※R6,7債務負担行為 ※支出はR7年度 ONU(光ケーブルから届く光信号とデジタル信号を相互変換する装置)の購入をするもの。 V-ONU(放送用) 20台 D-ONU(通信用) 40台	0	単町
基金積立金	光ケーブル施設の改修工事に充てるための基金積立てを行いました。 ※TCCからの伝送路使用料を充当。 5,200円/Km×636km×1.1=3,638千円 基金積立利息 84千円	3,722	その他収入3,722(光ファイバーネットワーク施設使用料3,638、基金利子84)
光ケーブル伝送路保守委託料	伝送路の修繕や移設、家屋への新規引込みや引込線の移設、撤去等光ケーブル線の保守業務を行いました。 光ケーブル施設伝送路保守 14,410千円 支障移転(R5線越分) 2,838千円 新規引込29件、移設21件、撤去17件、障害対応37件、ネット新規27件、伝送路移転17件、その他4件	17,248	県支出金2,770(伝送路移転補償費2,770) その他収入7,611(加入金770、工事分担金6,680、町有建物災害共済分担金161) 町6,867
伝送路施設に関する賃借料等	中国電力・NTT柱への共架料や自営柱の敷地賃借料、通信線路設備の借り上げ料等の支払いを行いました。 【使用料】 ・中国電力柱 4,885千円 ・NTT柱 2,329千円 ・通信線路設備(湯梨浜町) 9千円 ・JR浦安駅構内敷地料 2千円 【賃借料】 ・自営柱敷地料 644千円	7,869	単町
情報通信基盤施設保守業務委託料	TCC本社・支局、赤碕分庁舎の各々に設置されている通信・放送施設の定期点検や故障対応等の保守業務を行いました。 ・サブセンター設備分 14,630千円 ・ISP設備分 8,580千円	23,210	その他収入15,191(情報通信利用環境設備保守料15,191) 町8,019
情報通信基盤改修委託料	更新時期を迎えた赤碕サブセンター内にあるアクセスサーバのFW(ファイアウォール)の更新を行いました。 1,265千円	1,265	単町
合計		54,086	

事業の主な実施状況



光ケーブル引込み、ONU設置後

事業目的の達成状況

担当課による評価

C 進展なし

	<p>【前年度の課題の概要】 経費削減、事務手続きの簡素化に向けて、維持管理等の業務内容の更なる見直しが必要です。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 光ケーブル施設については、本町・北栄・湯梨浜の3町の施設をTCC（鳥取中央有線放送株式会社）が共通して利用していることから、事務手続きの簡素化、維持管理等の業務内容の見直し検討の場を設ける必要があります。このことについて3町で共通認識を持ちました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 3町での業務内容見直しの協議を開始することが出来なかったため、「進展なし」としています。</p>
今後の取り組みの方向	<p>引き続き事務手続きの簡素化、維持管理等の業務内容の見直しを行ってきます。H27年度から敷設した光ケーブルについて、耐用年数(15～20年)を見据えながら、次期更新時の方向性などについて、北栄・湯梨浜を含めた3町で検討する場を設ける必要があります。</p> <p>R7年度に3町がTCC(鳥取中央有線放送株式会社)と結んでいるIRU契約(破棄し得ない契約)や、光ケーブル使用料の見直しについての協議を行います。</p>

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	1022	事業名	防災行政無線システム維持管理		会計区分	一般会計		
担当課	企画政策課		担当係	SDGs推進室		□新規 ■継続		
予算区分	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 CATV管理費		
まちづくりビジョン	(5) 安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			① 自助・共助・公助による災害に強いまちづくり				
	重点事業							
				事業費財源内訳				
年度	最終予算額	決算額		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	3,180	3,079		0	0	0	0	3,079
事業の目的 (なんのために)	防災行政無線システムの適切な維持管理を行い、行政情報、緊急放送などの情報を的確に伝達します。							
細事業等	内容			決算額 (千円)	財源内訳			
委託料	地区遠隔制御装置設置業務 地区遠隔制御装置(部落放送機器)の設置を行いました。 ・地区遠隔制御装置 R5年度未設置率88% ・R6年度新規設置3地区(古長、南荒神町、地蔵町) ・戸別受信機 新規取付26件、交換対応51件			1,121	単町			
備品購入費	新規設置、故障交換に備え防災行政無線戸別受信機の購入を行いました。 R6年度購入数 50台			1,694	単町			
火災保険料	防災行政無線設備、携帯電話移動通信用施設、音声告知システム等の火災保険料を支払いを行いました。			264	単町			
	合計			3,079				
事業の主な実施状況	 <p>戸別受信機設置前後</p>							
	担当課による評価			A 相当程度進展あり				
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 本庁舎にある防災行政無線の親卓について、設置から10年以上経過しており機器更新の時期にきています。機器更新の方向性(引き続き防災行政無線を継続するのか、別の仕組みを導入するのか)について検討が必要です。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 現在導入している防災行政無線に替わる情報伝達手段として更新方法等を検討した結果、「携帯電話網を活用した防災情報提供システム」を導入することとなり、機器更新の方向性を出すことができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 ここ数年課題としてあげていた防災行政無線の機器更新の方向性が決まり「携帯電話網を活用した防災情報提供システム」の導入に向けて動き出したため「相当程度進展あり」としています。</p>							
今後の取り組みの方向	「防災行政無線」から「携帯電話網を活用した防災情報提供システム」を活用した情報伝達手段への円滑な移行を行います。(アプリのインストール支援、住民用端末の切替など)							

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	17	事業名	企画関係事務			会計区分	一般会計	
担当課	企画政策課		担当係	SDGs推進室		□新規 ■継続		
予算区分	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費		
まちづくりビジョン	(6) 町民の声が届き、ともに創る未来のまちづくり				① 町民に伝わる情報発信と情報共有			
		重点事業						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	474	342	0	0	0	0	342	
事業の目的 (なんのために)	企画関係事務等において円滑な事務を行います。							
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳	
企画関係事務	消耗品費 19千円 負担金 3千円 企画関係事務用品を購入しました。 ・ファイルほか 18,710円 広域連携業務に取り組みました。 ・中部地区行政振興協議会負担金 3,000円					22	単町	
公用車の管理	燃料費 69千円 保険料 18千円 借上料 191千円 企画政策課公用車(1台)の維持管理を行いました。 ・ガソリン代 69,410円 ・自動車保険料 17,960円 ・リース借上料 191,400円					278	単町	
携帯電話移動通信用施設の管理	火災保険料 19千円 借上料 23千円 携帯電話移動通信用施設の管理を行いました。 ・移動通信用施設の火災保険料 18,849円 ・移動通信用鉄塔用地の借上料 23,360円					42	単町	
合計						342		
事業の主な実施状況								
事業目的の達成状況	担当課による評価			S 目的達成				
	【前年度の課題の概要】 企画関係事務等を円滑に行っています。							
	【前年度課題についての対応及び成果】 企画関係事務等を円滑に行っています。							
今後の取り組みの方向	【担当課による評価の理由】 公用車の管理など企画関係事務を適正に行っているため。「目標達成」と評価しました。							
	引き続き企画関係事務等を円滑に行います。 ※本事業「№17 企画関係事務」は、令和7年度から「№1330 地域づくり事業」等に統合しました。							

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	618	事業名	琴浦町総合計画・過疎計画・地方創生戦略事業	会計区分	一般会計
担当課	企画政策課	担当係	SDGs推進室	□新規 ■継続	
予算区分	款 2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費
まちづくりビジョン	(6) 町民の声が届き、ともに創る未来のまちづくり		② 町民参画・協働の仕組みづくり		
	重点事業				

年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	5,213	4,888	1,846	0	0	0	3,042

事業の目的 (なんのために) 令和4年度から令和13年度までの10年間の、琴浦町のまちづくりの基本方針となる琴浦まちづくりビジョン（第3次総合計画）を策定します。まちづくりビジョン、過疎地域持続的発展計画、第2期まち・ひと・くらし創生戦略の検証を行い、必要に応じて計画の見直しを行います。

細事業等	内容	決算額(千円)	財源内訳
県地域振興対策協議会負担金	・負担金（過疎地域振興部会負担金） 320千円	320	単町
新しい広聴の仕組み作り	オンラインプラットフォーム（Liqid）を導入し、町民の声を幅広く集める、新しい広聴の仕組み作りに取り組みました。Liqidで様々な分野の施策等について意見募集を実施しました。 ※デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）の交付対象事業 ・委託料（Liqid導入及び運用管理） 4,352千円	4,352	国庫1,846 町2,506
琴浦町過疎地域持続的発展計画の改定及び策定	対象事業追加に伴い、過疎地域持続的発展計画の見直しを行いました。 ・経費なし	0	単町
総合戦略の検証	第3期琴浦町地方創生総合戦略（令和7～11年度）の策定に向けて、アンケート及びワークショップ（2回）を開催しました。また、令和5年度の数値目標・KPIを取りまとめ、進捗状況を地方創生推進会議等で検討しました。令和7年3月に町議会に報告し、第3期琴浦町地方創生総合戦略を策定しました。 ・報酬（地方創生推進会議委員報酬） 4千円 ・需用費（消耗品費） 7千円 ・役務費（アンケート実施分） 186千円 ・印刷製本（アンケート用の返信封筒作成） 19千円	216	単町
合計		4,888	

第3期琴浦町地方創生総合戦略の策定に向けたワークショップの様子（左：第1回、右：第2回）



琴浦町Liqidホーム画面の様子（主な意見募集内容：琴浦町の子育て、浦安駅改修、次期総合戦略策定、白鳳祭等）



事業の主な実施状況



	担当課による評価	A 相当程度進展あり
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 まちづくりビジョン、過疎地域持続的発展計画、まち・ひと・くらし創生戦略の検証・評価を行い、関係会議及び議会に報告するとともに、次年度に向けた政策形成の基礎資料とします。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 ・第3期琴浦町地方創生総合戦略（令和7～11年度）の策定に向けて、令和5年度の数値目標・KPIに対する進捗状況を取りまとめ、推進会議等で検証し、次期戦略の検討をしました。令和7年3月に町議会に報告し、第3期琴浦町地方創生総合戦略を策定しました。 ・対象事業追加に伴い、過疎地域持続的発展計画の見直しを行いました。 ・オンラインプラットフォーム（Liqid）を導入し、町民の声を幅広く集める、新しい広聴の仕組み作りに取り組みました。Liqidの令和6年度実績は、参加者976人、意見募集を行った回数6回、投稿・リアクション件数1,300回以上であり、様々な分野の施策等について意見を得られました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 ・第2期総合戦略の検証を行うとともに、第3期総合戦略を策定したため、相当程度進展ありとしました。策定にあたっては、あらたに導入したLiqidを活用し、広く住民の声を総合戦略に反映しました。</p>	
今後の取り組みの方向	<p>・Liqidを活用し住民意見を把握しながら、各種計画の策定・見直しを行います。</p>	

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書





事業番号	1143	事業名	官学連携事業			会計区分	一般会計	
担当課	企画政策課		担当係	SDGs推進室		□新規 ■継続		
予算区分	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費		
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				① 子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	43	15	0	0	0	0	15	
事業の目的(なんのために)	鳥取大学と幅広い分野で連携を行うことにより、活力あるまちづくりを推進します。地元高校生などによる地域に関する調査研究に学校と連携し協力することで、ふるさと教育の場とします。							
細事業等	内容					決算額(千円)	財源内訳	
鳥取中央育英高校との連携事業	鳥取中央育英高校実施の学校運営協議会へ参加し、高校との情報交換及び連携を行いました。 ・経費なし					0	単町	
鳥取大学との連携事業費	県内市町村について学び、地元定着を図る「とっとり暮らし早期体験学習」において鳥取大学生を令和6年5月に受け入れ、町内団体の協力のもと、鳴り石の浜及び塩谷走好写真記念館の2カ所フィールドワークを行いました。 ・負担金(鳥取大学振興協会負担金) 15千円					15	単町	
合計						15		
事業の主な実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・とっとり暮らし早期体験学習の様子 							
								
事業目的の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、連携している主な事業 							
	<p>琴浦町「暮らすインターン」：インターンシッププログラム。学生へ実際に地域で働く楽しさや、地域企業ならではの良さを伝え、鳥取県で働く・暮らす、という具体的なイメージを持ってもらう。令和6年度は8月26日～30日にかけて、学生2名がお試し住宅への宿泊、サウナ体験、地域おこし協力隊員との交流、企業での就業体験等を実施。</p>							
	<p>認知症に係る連携：鳥取大学医学部教授に来庁いただき、高齢者向けの物忘れ相談を実施。診察に加え、医療機関への紹介や町の介護予防教室への参加提案を実施。令和6年度は3回実施。</p>							
	<p>共同研究事業：町内の介護予防サークル、サロン、まちの保健室へ鳥取大学医学部教員及び学生が訪問し、高齢者検診を実施。検診結果に基づき、介護予防教室や物忘れ相談を案内。令和6年度は11回実施。</p> <p>社会医学チュートリアル実習；地域実践型学生教育授業の一環。鳥取大学医学部の学生が町で行われている高齢者を対象とした活動を見学・参加し、知見を深める。加えて、学生が認知症予防教室を企画・運営し、実習で得られた成果を学内で発表・共有する。令和6年度は12名の学生が3回の見学、1回の教室を実施。</p>							
事業目的の達成状況	担当課による評価			B 進展が大きくない				
	<p>【前年度の課題の概要】 鳥取中央育英高校については、近隣自治体であり、町内からも一定数進学している町として、引き続きどのように連携していくか、学校と協力して検討が必要です。</p>							
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】 鳥取中央育英高校は将来の進学・就職に向けた進学コース、地域コース、スポーツコースを設置しており、地域コースの専門学習について今後も行政・民間と連携していく方針です。</p>							
	<p>【担当課による評価の理由】 引き続き、幅広い分野で学校と連携・協力していく必要があります。</p>							

今後の取り組み の方向	<p>①鳥取大学については、町と連携が必要な事業の有無について、各課との調整が必要です。</p> <p>②鳥取中央育英高校については、近隣自治体であり町内からも一定数進学していることから、引き続きどのように連携していくか、学校運営協議会での検討が必要です。</p> <p>③他の学校との連携も視野に入れて、情報収集及び検討する。</p>
----------------	--

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	1160	事業名	琴浦町男女共同参画推進事業		会計区分	一般会計	
担当課	企画政策課	担当係	SDGs推進室		□新規 ■継続		
予算区分	款 2 総務費	項	1 総務管理費		目	7 企画費	
まちづくりビジョン	(1) 新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり		④ 支え合いと共生のまちづくり				
	重点事業						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	411	279	0	61	0	0	218
事業の目的 (なんのために)	男女共同参画社会形成の促進を図ります。						
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳
琴浦町男女共同参画審議会開催事務経費	第4次琴浦町男女共同参画プランへの取組に対する意見交換を行いました。 ○琴浦町男女共同参画審議会の開催(3月24日) 取組の広報・発信の仕方、避難所での配慮、啓発活動等について意見交換し、第4次琴浦町男女共同参画プランに基づく令和6年度の実績について報告し、意見交換しました。 ・報酬(琴浦町男女共同参画審議会委員報酬) 6千円					6	単町
男女共同参画の啓発活動の実施	町内団体によりん彩の出前講座の活用などを呼びかけたり、補助金を案内するなど県と連携し、啓発・推進を図りました。 ・経費なし					0	単町
琴浦町男女共同参画推進会議活動補助金	琴浦町男女共同参画推進会議主催の女性模擬議会に関わる活動等の支援を行いました。 ①ワークショップ開催(11月9日) 各テーブルのテーマを「子育て」、「家事」、「家族支援」、「仕事」とし、意見交換を行い、各参加者の悩み事を参加者同士で解決するワークショップを実施しました。 ②琴浦町男女共同参画フォーラム2024(12月7日) スーパー主夫の山田亮さんを講師に、講演を実施しました。 ・補助金 273千円					273	県支出金(市町村創生交付金)61 町212
合計						279	
事業の主な実施状況	ワークショップ・フォーラムの様子						
							
	フォーラムのチラシ						



	担当課による評価	A 相当程度進展あり
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 ①第4次琴浦町男女共同参画プランの普及とともに、プラン実施計画に基づいて、関係機関、団体と連携して啓発活動を展開してきます。 ②男女共同参画の啓発活動の一環として、女性が町政へ声を発しやすい環境をつくるために男女共同参画推進会議の活動支援を行う必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 ①団体等へよりん彩事業の呼びかけを行ったが、事業実施に至らなかった。 ②男女共同参画推進会議の活動を支援し、町民への啓発活動につなげることができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 琴浦町男女共同参画推進会議の取組により、啓発活動を行うことができ、相当程度進展ありと評価しました。</p>	
今後の取り組みの方向	<p>①プランの推進にあたっては、具体的なアクションのもと町全体で取り組むとともに、その実績と成果を見える化し、発信します。 ②町民が男女共同参画について考える機会の提供を行います。</p>	

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	1229	事業名	縁結び事業			会計区分	一般会計	
担当課	企画政策課		担当係	SDGs推進室		□新規 ■継続		
予算区分	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費		
まちづくりビジョン	(1) 新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり			⑤ パートナーと出会い、幸せを共感できるまちづくり				
	重点事業							
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	200	200	0	44	0	0	156	
事業の目的 (なんのため に)	結婚を希望する独身男女の出会いの場の創出や、セミナー等の開催により、未婚・晩婚化の解消を図ります。							
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳	
広域婚活事業負担金(ふるさと広域連合負担金)	負担金 200千円 ふるさと広域連合と中部市町が連携し、中部圏域の独身男女に対し、結婚につながる出会いの場の提供を行いました。 ・ふるさと広域連合負担金 200千円					200	県44(市町村創生交付金) 町156	
合計						200		
事業の主な 実施状況	交流イベント							
	イベント名		参加人数(うち琴浦)	カップル成立組数				
	大人の恋活交流会(9/28)		11(1)	2				
	恋活交流会In美術館(10/26)		14(0)	2				
	恋活交流会In打吹回廊(11/10)		10(1)	2				
	スイーツビュッフェ♥マッチングイベント(11/17)		37(2)	4				
	クリスマススイーツ教室(12/15)		12(0)	2				
	スイーツ交流会(2/11)		18(2)	4				
 恋活 In 美術館		 スイーツ交流会						
担当課による評価			A 相当程度進展あり					
事業目的の 達成状況	【前年度の課題の概要】 新しい出会いや結婚を希望される町民の方へ出会いの場を創出するため、ふるさと広域連合連携事業で開催する婚活イベント等の情報発信を行う必要があります。							
	【前年度課題についての対応及び成果】 ふるさと広域連合連携事業で開催する婚活イベントを、ホームページ、広報紙、SNS等でPRしました。							
	【担当課による評価の理由】 ふるさと広域連合連携事業の婚活イベントについて、カップル成立率36.4%(目標35%)を達成したため、相当程度進展有りと評価しました。							
今後の取り組み の方向	引き続き、結婚を希望される方へ出会いの場の提供等をするため、婚活イベントの開催に情報発信します。また、えんトリー事業の個別相談、個別引き合わせ、カップル継続フォロー等に協力し、婚活支援を行います。							

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	20	事業名	国際交流の推進			会計区分	一般会計	
担当課	企画政策課		担当係	SDGs推進室		□新規 ■継続		
予算区分	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費		
まちづくりビジョン	(1) 新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり			④ 支え合いと共生のまちづくり				
		重点事業						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	822	761	0	122	0	0	639	
事業の目的 (なんのために)	国際交流を推進することにより、多様な文化・生活様式の違いに理解のあるまちづくりを目指します。							
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳	
鳥取県中部地区日韓親善協会会費負担金	日韓に関する様々な学習、各種行事の開催、啓発活動など、日韓の交流を促進させるため、情報収集として鳥取県中部地区日韓親善協会に加入し、負担金を支払いました。 ・負担金 3千円					3	単町	
鳥取県日台親善協会会費負担金	日台に関する様々な学習、各種行事の開催、啓発活動など、日台の交流を促進させるため、情報収集として鳥取県日台親善協会に加入し、負担金を支払いました。 ・負担金 3千円					3	単町	
韓国麟蹄郡交流事業	①琴浦町スポーツ少年団がサッカー交流を行うため、8月9～11日に韓国麟蹄郡を訪問した際の現地との連絡調整等の支援を行いました。 ・経費なし ②琴浦町誕生20周年を記念し、麟蹄郡行政団（団長：副郡守）が9月25～29日で受け入れました。訪問団との意見交換及び町内の観光施設等の視察を行いました。 ・使用料及び賃借料（移動車輛借り上げ、施設入館料等） 356千円 ・旅費（職員旅費） 3千円 ・報償費（通訳手配） 117千円 ・需用費（食糧費、消耗品費） 240千円 計716千円					716	県支出金（市町村創生交付金）122 町594	
琴浦町国際交流協会補助金	多文化共生、相互理解を図ることを目的に、琴浦町国際交流協会に補助金を交付し、活動（ワールド料理教室、ケーキ作り等）を支援しました。 ・補助金 39千円（補助率1/2、上限100千円）					39	単町	
合計						761		
事業の主な実施状況	<p>琴浦町スポーツ少年団のサッカー交流の様子</p>  <p>韓国麟蹄郡行政団の来町の様子</p> 							



		担当課による評価	A 相当程度進展あり
事業目的の 達成状況		<p>【前年度の課題の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生の観点から、町内在住の外国籍の方へ向けた交流の場提供と、地域との相互理解に向け、引き続き町国際交流協会の支援を行う必要があります。 ・韓国麟蹄郡との交流継続に向けた検討が必要です。 <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内在住の外国籍の方へ向けた交流の場提供と地域における相互理解を図ることについて、町国際交流協会主催イベントの支援を行いました。 ・韓国麟蹄郡の行政団を招聘し、交流を行いました。来年度以降も交流を継続することで合意しま ・琴浦町スポーツ少年団が麟蹄郡でサッカー交流を行ったことをきっかけに、麟蹄郡との青少年交流が再開しました。継続的な交流を進めるべく、令和7年度は麟蹄郡のサッカー少年団を招へいし、琴浦町でサッカー交流を行うこととなりました。 <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>琴浦町国際交流協会主催イベントの支援を行いました。韓国麟蹄郡との交流については令和7年度の交流について方針が決まったため、相当程度進展ありと評価しました。</p>	
	今後の取り組み の方向	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生の観点から、町内在住の外国籍の方へ向けた交流の場提供と、地域との相互理解に向け、引き続き町国際交流協会の支援を行う必要があります。 ・韓国麟蹄郡からの青少年団招聘についての準備・協議が必要です。 	

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	38	事業名	地域交通対策事業			会計区分	一般会計																														
担当課	企画政策課		担当係	SDGs推進室		□新規 ■継続																															
予算区分	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費																															
まちづくりビジョン	(1) 新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり			⑦ 持続可能で利用したい地域交通の構築																																	
				事業費財源内訳																																	
年度	最終予算額	決算額		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源																													
令和6年度	105,080	104,023		0	28,291	5,141	0	70,591																													
事業の目的 (なんのために)	・ 市民の生活に必要な交通手段として、町営バスをはじめとする地域交通事業を展開します。 ・ 将来的なドアツードア型の生活交通構想に向け、バス、タクシー、共助交通などさまざまな交通を複合的に掛け合わせた持続可能な地域交通のあり方について引き続き検討を行います。																																				
細事業等	内容				決算額(千円)	財源内訳																															
町営バス運行管理 【改善】	町営バスの運行管理を行いました。 令和7年4月から琴浦町営バスの再編に伴い新たな時刻表を作成しました。 変更の内容：病院経由地の見直し（経由地に店、病院等を追加） ・ 運行管理委託料 90,528千円 ・ 消耗品費 17千円 ・ 印刷製本費（時刻表） 495千円 ・ バス、バス停修繕料 1,843千円 ・ 自動車保険料 138千円 ・ 自動車重量税 41千円 ・ 手数料（車検） 98千円				93,160	県27,656、その他5,141、町60,363（特別交付税措置）																															
交通空白地タクシー助成事業	公共交通空白地に在住する運転免許を持たない高齢世帯等に対し、タクシーチケットを交付しました。 ・ 利用助成委託料 113千円				113	県31、町82																															
広域路線バス運行事業	日ノ丸自動車が運行する広域路線(倉吉赤碕線)に係る赤字部分について、琴浦町内を運行する部分を按分し、赤字補てんとして補助金を交付しました。 ・ 運行補助金 9,281千円				9,281	単町（特別交付税措置）																															
公共交通関係会議	・ JR・智頭中部利用促進協議会負担金 89千円 ・ 鳥取空港利用を促進する懇話会負担金 60千円 ・ 山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議負担金 20千円 ・ 鳥取県中部地域公共交通会議負担金 33千円 ・ 地域公共交通会議委員報酬 2千円				204	単町																															
交通空白地有償運送事業 【改善】	交通空白地有償運送(実証実験を含む)を行う、団体、NPO法人等に対し、運行にかかる経費を補助しました。 ※車両リース料、ドライバー報酬、自動車保険料、燃料費等 ・ 運行補助金 1,265千円 補助対象：助け合い交通ことうら（安田）、上郷・倉坂たすけあい交通（上郷・倉坂）				1,265	県604、町661（特別交付税措置）																															
合計					104,023																																
事業の主な実施状況	交通空白地域タクシー助成事業 113千円 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>対象者数</td> <td>17人</td> <td>利用回数</td> <td>216回</td> <td>助成額1/2</td> <td>113,000円</td> <td>1回あたり助成額</td> <td>523円</td> </tr> </table> 町営バスの運行委託 90,528千円 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>委託事業者</th> <th>R6利用(人)</th> <th>委託費(円)</th> <th>一人あたり経費(円)</th> <th>R5利用(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>野井倉線</td> <td rowspan="4">(株) 田中商店</td> <td>11,932</td> <td rowspan="4">59,785,965</td> <td rowspan="4">2,921</td> <td>12,493</td> </tr> <tr> <td>上法万線</td> <td>6,823</td> <td>6,690</td> </tr> <tr> <td>福永線</td> <td>1,403</td> <td>1,630</td> </tr> <tr> <td>上中村線</td> <td>310</td> <td>318</td> </tr> </tbody> </table>								対象者数	17人	利用回数	216回	助成額1/2	113,000円	1回あたり助成額	523円	路線名	委託事業者	R6利用(人)	委託費(円)	一人あたり経費(円)	R5利用(人)	野井倉線	(株) 田中商店	11,932	59,785,965	2,921	12,493	上法万線	6,823	6,690	福永線	1,403	1,630	上中村線	310	318
対象者数	17人	利用回数	216回	助成額1/2	113,000円	1回あたり助成額	523円																														
路線名	委託事業者	R6利用(人)	委託費(円)	一人あたり経費(円)	R5利用(人)																																
野井倉線	(株) 田中商店	11,932	59,785,965	2,921	12,493																																
上法万線		6,823			6,690																																
福永線		1,403			1,630																																
上中村線		310			318																																

琴浦海岸線	日ノ丸 自動車（株）	14,470	30,742,470	1,345	15,747
船上山線		8,379			9,704
合 計		43,317	90,528,435	2,090	46,582

交通空白地有償運送事業 1,265千円

「上郷・倉坂たすけあい交通の会」が令和6年度実証実験を実施しました。



共助交通（自家用有償旅客運送）	実利用者数	延利用人数	年間運行日数	年間運行回数	平均運行回数 (1日あたり)	年間走行	運賃収入	補助金
安田地域づくり協議会	11人	335人	142日	373回	2.6回	3,576km	114,900円	729,654円
上郷・倉坂たすけあい交通の会（実証実験）	13人	129人	18日	99回	5.5回	1,063km	—	535,005円

担当課による評価

A 相当程度進展あり

【前年度の課題の概要】

- ①共助交通の定着、実施に向け地元団体との連携、支援を行います。
- ②令和7年度の交通再編に向けて事業者協議、地域連携を進めます。

【前年度課題についての対応及び成果】

- ①令和6年度に上郷・倉坂で実証実験を行い、令和7年度4月から「上郷・倉坂たすけあい交通」が本格運行を開始しました。
- ②交通再編を行い、令和7年度から減便になる福永線（上郷・倉坂地区）の日中については、地域住民の協力のもと「上郷・倉坂たすけあい交通」（共助交通）が運行します。

【担当課による評価の理由】

- ・令和7年4月から町営バスの経由地に店、病院等を追加するなど町民の方の利便を考え再編を実施しました。
- ・町営バス利用者の減少から日中のバス運行を減便とした上郷・倉坂地域と連携し、共助交通を本格運行を開始することができ、相当程度進展ありと評価しました。

事業目的の
達成状況

今後の取り組み
の方向

- ①共助交通の定着に向け、地元協議会と連携及び支援を行います。
- ②琴浦町における交通体系のあり方について、更なる検討を行います。

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	1578	事業名	駅舎活用・駅前魅力化事業			会計区分	一般会計
担当課	企画政策課		担当係	SDGs推進室		□新規 ■継続	
予算区分	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費	
まちづくりビジョン	(1) 新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり			⑧ 駅舎の活用と駅前の魅力化			
	重点事業						

年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	50,650	3,853	0	0	0	3,200	653

事業の目的 (なんのために)
 ・ J R 浦安駅利用者の利便性・安全確保のため、J R 西日本と連携し駅舎を整備します。
 ・ 令和6年度は利用者意見の聴取と浦安駅北側待合所の設計を行います。

細事業等	内容	決算額(千円)	財源内訳
浦安駅北側待合所整備事業 【新規】	浦安駅北側待合所新設に係る設計費用等 ・ 設計業務委託料 3,245千円 ・ 基本計画策定業務委託料 495千円 ・ 駅前トイレ利用負担金 112千円	3,853	過疎債3,200、町652
合計		3,853	

浦安駅北側待合所整備事業

浦安駅の老朽化に伴い、既存の駅舎、跨線橋、ホーム上屋根、トイレ等が撤去されることになりました。

J R と協議の結果、南側待合所は J R が整備し、浦安駅北側待合所を町が整備することになり、令和6年度は設計業務を行いました。北側待合所の整備にあたり、Liqid (リクリッド：オンライン住民参加型合意形成プラットフォーム) で意見募集を行い設計に反映しました。

J R 浦安駅 (撤去前)



事業の主な実施状況

浦安駅北側待合所イメージ図



事業目的の達成状況

担当課による評価

A 相当程度進展あり

【前年度の課題の概要】

【前年度課題についての対応及び成果】

住民説明会を開催し、町の整備方針を伝えるとともに住民の意見集約及び意見を踏まえた待合所の設計業務を行いました。

【担当課による評価の理由】

	住民の意見聞き、設計業務を完了することができたため、相当程度進展ありと評価しました。
今後の取り組み の方向	令和7年度中に浦安駅北側待合所を新設します。

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	1193	事業名	地域おこし協力隊員活動事業		会計区分	一般会計	
担当課	企画政策課		担当係	移住定住推進室		□新規 ■継続	
予算区分	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費	
まちづくりビジョン	(1) 新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり			① 住宅の確保と移住定住の推進			
	重点事業 若者の定住・Uターンへの足掛かりとなる「住まい」と「しごと」の環境整備						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	4,689	2,528	0	0	0	0	2,528
事業の目的 (なんのために)	総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用し、隊員の意欲や能力を活かした新しい発想の地域おこし策や移住・定住により、地域活性化及び地域力の維持・強化を図ります。						
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳
地域おこし協力隊サポート業務委託料	地域おこし協力隊サポート業務・お試しツアー企画運営 969千円 ・委託料 882千円 ・借上料 87千円 地域おこし協力隊ネットワーク団体「鳥の巣」へサポート業務を委託し、現役協力隊への毎月の個別相談やコーチング、地域住民への活動報告会運営等を行いました。 地域おこし協力隊体験ツアーを実施し、地域の行事への参加や、先輩移住者との交流の場を作りなどして、採用時のミスマッチ防止を図りました。 合計 3回実施 6名参加					969	単町（特別交付税措置）
地域おこし協力隊起業支援補助金	隊員の退任後の起業を支援する補助金については、申請がありませんでした。 補助金 1,000千円（活用なし）					0	単町（特別交付税措置）
地域おこし協力隊活動経費	【委嘱状況】 ①令和3年5月1日(土)～令和6年4月30日(土) 石黒明日香 ②令和3年5月1日(土)～令和6年4月30日(土) 正田好実 ③令和4年10月1日(土)～令和7年9月30日(火) 谷敷友香 地域おこし協力隊活動費 1,559千円 その他経費 ※会計年度任用職員報酬として別事業（No.1538）で計上 報酬：3,594千円 社会保険料：545千円					1,559	単町（特別交付税措置）
合計						2,528	
事業の主な実施状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">① </div> <div style="text-align: center;">② </div> <div style="text-align: center;">③ </div> <div style="text-align: center;">④ </div> </div> <p>①カラコロマーケットチラシ ②カラコロマーケット登壇の様子 ③コトウラファンクリエイター任命の様子 ④公式YouTubeへの動画投稿</p> <p>【主な活動実績】</p> <p>○石黒隊員 サウナの活動を主に関係人口の創出に貢献しました。 地域おこし協力隊主催イベント「カラコロマーケット」を企画・運営し、各隊員と協力して地域住民へ隊員の地域活動のPRを行いました。 卒業後、「コトウラファンクリエイター」として、関係人口の創出に携わっています。</p> <p>○正田隊員 町出身で県外に在住している大学生や社会人などが町の魅力を知る機会を提供し、関係人口の創出に貢献しました。 地域おこし協力隊主催イベント「カラコロマーケット」を企画・運営し、各隊員と協力して地域住民へ隊員の地域活動のPRを行いました。 卒業後、地域おこし協力隊ネットワーク団体（鳥の巣）で、町内の隊員のサポートを行っています。また、「コトウラファンクリエイター」として、関係人口の創出に携わっています。</p> <p>○谷敷隊員 主に町公式YouTubeの動画作成やInstagramでの動画投稿を行い、「東伯牛PR動画」や「食改さんのレシピ」シリーズ等、地元イベントや風景などに密着した動画配信で町の魅力発信に貢献しました。</p>						

地域づくり振興協議会や公民館と連携しながら、地元のイベントに参加し、地域住民と積極的に交流を図りました。
 地域おこし協力隊主催イベント「カラコロマーケット」を企画・運営し、各隊員と協力して地域住民へ隊員の地域活動のPRを行いました。

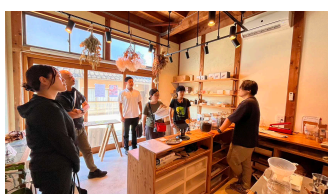
地域おこし協力隊サポート業務・お試しツアー企画運営

①



①活動報告会の様子

②



②お試しツアー先輩移住者との交流

③



③お試しツアー地域おこし協力隊OBとの交流

担当課による評価

A 相当程度進展あり

【前年度の課題の概要】

今後の活動指針や活動状況を担当者と共有するための時間を定期的につくることで、協力隊の活動を日頃からサポートする必要があります。
 委託型の地域おこし協力隊募集にあたり、要綱の整備をする必要があります。

【前年度課題についての対応及び成果】

地域おこし協力隊ネットワーク団体「鳥の巣」へサポート業務を委託し、現役協力隊の活動を支援しました。
 地域おこし協力隊に要綱を見直し、「委託型」に対応したものとしました。

【担当課による評価の理由】

現役隊員の個人面談やコーチング、定例会を毎月行いました。
 隊員のメンタルサポートや協力隊同士のネットワーク作りを強化し、活動の総合的なサポート制度を確立しました。

事業目的の
達成状況

今後の取り組み
の方向

令和6年度に地域おこし協力隊のお試しツアーを開催し、新たな隊員の募集を行いました。応募には至りませんでした。今年度は地域おこし協力隊ネットワーク団体と連携しながら、募集案内の周知方法を強化していきます。

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	1195	事業名	町内地域づくり団体の連携			会計区分	一般会計
担当課	企画政策課		担当係	SDGs推進室		□新規 ■継続	
予算区分	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費	
まちづくりビジョン	(1) 新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり			③ 町民主役の地域づくり			
	重点事業 情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり						

年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	1,920	1,680	0	14	0	0	1,666

事業の目的
(なんのために)
町内地域活性化団体の連携を目的に設立した中間支援組織「琴浦まちづくりネットワーク」の活動支援を行います。町内地域活性化団体を対象とし琴浦町のさらなる発展に資するまちづくりを支援するため補助金を設置し、協働によるまちづくりの推進を図ります。

細事業等	内容	決算額(千円)	財源内訳
一般財団法人地域活性化センター負担金	負担金 70千円 活力ある地域をめざし、まちづくり等地域社会の活性化を図るため、一般財団法人地域活性化センターへ負担金を支出しました。 ・一般財団法人地域活性化センター負担金 70,000円	70	単町
琴浦まちづくりネットワーク運営費補助金	補助金 1,550千円 町内の地域活性化団体の連携を図る中間支援組織「琴浦まちづくりネットワーク」の活動支援のため、事務局運営費とまちづくりに関する事業の開催にかかる経費の補助を行いました。 ・琴浦まちづくりネットワーク運営費補助金 1,550,000円	1,550	単町
琴浦町元気づくり応援事業費補助金	補助金 60千円 地域活性化に向けた活動を行う団体に支援を行うため補助金を交付しました。 ・元気づくり応援事業費補助金(申請1件) 【ステップアップ型(補助率2/3)】 申請者:花本美雄文化振興財団 内容:カウベルお試しワークショップ 補助金:60,000円	60	県支出金(市町村創生交付金)14 町46
合計		1,680	

事業の主な実施状況
新たな体制となったまちネットの事務局運営経費の一部を補助を行いました。休止状態であったHPのリニューアルを行ったほか、各種SNSでの情報発信、気軽に集まり情報交換が出来る場として「ことより」という催しを開催するなど、新たな取組を始めています。



事業目的の達成状況	担当課による評価	A 相当程度進展あり
-----------	----------	------------

【前年度の課題の概要】
会員全体がまちネットに関わり、活動が継続できる仕組みを強化することが必要です。

【前年度課題についての対応及び成果】
会議等へ参加し、担当課とまちネットとで随時意見交換を行いました。まちネットの運営体制の見直しが行われ、より情報交換や共有が出来る活動内容へと変わりました。

	<p>【担当課による評価の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「元気づくり応援事業補助金」は、申請が1件でした。 ・まちネットは新たな役員体制となり、ホームページのリニューアルや、気軽に誰でも参加し情報交換などが行える「ことより」という集まりの場を毎月開催するなど新たな取組を始められました。また、「まちねっと通信」という会報を作成し、各種SNSを通じてまちネットの活動内容を多くの人に伝える取組を始められたため「相当程度進展あり」としました。
<p>今後の取り組み の方向</p>	<p>まちネットと町との意見交換の場を設けるなどして、まちネットの活動について方向性や重要性を共有することが必要です。ふるさと納税を活用し、地域活性化や課題解決を目的とした自主的な取組を行う団体の活動費を支援する「ふるさとまちづくり団体応援交付金」制度を創設します。</p>

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	1330	事業名	地域づくり事業			会計区分	一般会計	
担当課	企画政策課		担当係	SDGs推進室		□新規 ■継続		
予算区分	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費		
まちづくりビジョン	(6) 町民の声が届き、ともに創る未来のまちづくり			② 町民参画・協働の仕組みづくり				
	重点事業 情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり							
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	6,127	4,789	0	0	0	0	4,789	
事業の目的 (なんのために)	地域住民により設立された地域運営組織による住民主体の地域づくり活動を推進する。							
細事業等	内容						決算額 (千円)	財源内訳
地域づくり活動費	消耗品費 11千円 地域運営組織設立のない地区の地域活動に関する費用 ・成美地区いまこ食堂 10,851円						11	単町
施設管理費	委託料 46千円 火災保険料 62千円 光熱水費 327千円 使用料 54千円 ○三本杉ふるさと分校 当施設は野井倉・中津原・上三本杉・下三本杉・やまびこサークルで組織する「三本杉ふるさと分校管理委員会」を指定管理者として指定 ※指定管理料は無し ・建物損害共済保険料 41,712円 ・農業集落排水使用料 26,400円 ○旧安田保育園 安田地域づくり協議会が、ふれあい食堂等の地域活動を実施しました。 ・電気・水道代 327,092円 ・建物損害共済保険料 20,793円 ・消防設備保守委託料 46,200円 ・公共下水道使用料 28,050円						490	単町
地域運営組織活動交付金 【新規】	交付金 4,288千円 地域運営組織条例に基づく認定を受けた地域運営組織(3地区)に対して交付金を交付しました。 各協議会においては、地域振興や地域課題に対応するための助け合いなど安心して暮らし続けるために、住民主体の地域活動に取り組みました。 ※各協議会への交付金と主な活動は以下のとおり ○古布庄まちづくり協議会 1,537,000円 (生活あんしん部) まちづくり研修、防災訓練、人権・同和教育活動(いきいき健康部) 百歳体操、トレーニング教室、ものづくり教室(地域ふれあい部) ニュースポーツ交流会、夏まつり、ふれあい交流会(まちおこし部) カフェみなく、星空観望会、民芸教室 ○安田地域づくり協議会 1,278,755円 (社会教育部) 町民運動会、公民館のつどい、ものづくり教室(ふれあい地域づくり部) わくわく体験交流会、ふれあい食堂、朝市(防災安全部) 地区一斉防災訓練、地区一斉清掃、防犯講演会(健康福祉部) 健康マージャン教室、小中学生勉強会 安田体操 ○以西地区振興協議会 1,471,955円 (地域福祉部) ふれあい食堂、笑学校、元気貯筋教室、防犯教室(産業振興部) じげもんや、竹の子・枝豆収穫体験、軽トラ市(地域づくり部) いさい夢まつり、クリーン大作戦、歴史探訪(生涯学習部) 町民運動会、住民作品展、ニュースポーツ						4,288	単町(特別交付税措置)
合計							4,789	
事業の主な実施状況								

○古布庄まちづくり協議会



夏まつり



ふれあい交流会

○安田地域づくり協議会



わくわく体験交流会



町民運動会

○以西地区振興協議会



軽トラ市



竹の子収穫体験会



餅つき体験会

担当課による評価

A 相当程度進展あり

【前年度の課題の概要】

地域の実情に応じた地域づくりを推進するため、集落支援員による活動を継続し、住民同士の話し合いや地域の実情把握を進めます。

【前年度課題についての対応及び成果】

地区公民館を基軸とした住民主体の地域づくりが進んでいます。
地域運営組織による地域運営を行っている地区では、住民同士の話し合いにより地域独自の取り組みが進められています。

【担当課による評価の理由】

地域運営組織条例を制定し、地域運営組織による地域づくり活動の推進を制度化しました。

今後の取り組み
の方向

地域運営組織が主体となり地区公民館事業と一体的に事業を継続し、地区公民館を基軸とした地域づくり推進します。

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	902	事業名	移住定住促進事業		会計区分	一般会計	
担当課	企画政策課	担当係	移住定住推進室		□新規 ■継続		
予算区分	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費	
まちづくりビジョン	(1) 新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり			① 住宅の確保と移住定住の推進			
	重点事業 若者の定住・Uターンへの足掛かりとなる「住まい」と「しごと」の環境整備						
年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	22,336	20,445	0	1,500	183	17,500	1,262
事業の目的 (なんのため に)	人口減少対策としてきめ細やかな移住希望者の相談対応、専用ホームページを中心とした情報発信のほか、空き家の活用や新築奨励金等の交付により、転出抑制および移住者の増加、定着を目指します。						
細事業等	内容				決算額 (千円)	財源内訳	
お試し住宅管理	移住希望者のためのお試し住宅「琴浦さんち」の維持管理と利用者の滞在中の相談などの対応を行いました。 内訳：通信料、火災保険料、機械警備委託料、光熱水費等				480	その他183、単町297	
移住就業等支援金	東京23区から移住し、県指定企業へ就職等した方へ支援金を交付する制度ですが、本年度該当ありませんでした。				0	県3/4、町1/4	
移住相談業務	移住相談サポーターとして町内在住の鳥取暮らしアドバイザー等を委嘱し、空き家の内見等の一部業務を依頼しました。 ・報償費 2,000円×29時間 ※車両燃料費等含む 【業務内容】 ①空き家の内見、撮影 ②土日祝の移住相談・お試し住宅対応 ③上記の対応時に補助金制度等の各種支援制度を説明				58	単町	
暮らそうコトウラ！新築奨励金	町内に戸建て住宅を新築又は新築を購入し、居住する方に支給しました。 ■若者・子育て世帯 10,000千円 ※夫婦のうち、どちらか35歳以下又は中学生以下1名以上の世帯に支給 県内・町内 500千円×18件 県外者 1,000千円×1件 ■定住奨励金 5,300千円 ※槻下住宅団地、きらりタウン赤碕に新築する世帯に支給 きらりタウン 1,000千円×5件 槻下団地 300千円×1件				15,300	県500、町300、過疎債(ソフト事業) 14,500	
移住者への相談対応	移住前の相談から家や仕事探しの支援、移住後のフォローまで行いました。 移住情報専用HPで琴浦町の情報を発信しました。 ・県外相談会 212千円 (東京2回、大阪3回、岡山1回) ・関係機関負担金 80千円 ・移住パンフレット印刷 71千円				363	単町	
暮らそうコトウラ！空き家活用補助金	空き家ナビ物件を購入または賃貸する者、物件登録する方に支給しました。 ■空き家購入補助 2,600千円 購入費用および購入に伴うリフォーム費用を補助 町内 200千円×5件 県外 800千円×2件 ■賃貸物件リフォーム補助 町内業者利用・DIYによる賃貸物件のリフォーム費用を補助 合計 558千円(2件) ■家財撤去費用補助 残置物を撤去する費用を補助 合計 1,020千円(6件)				4,178	県1,000、町178、過疎債(ソフト事業) 3,000	
空き家ナビ運営	町内の空き家を空き家ナビに登録し、ホームページで物件を紹介、利用希望者とのマッチングを行いました。 また、空き家問題に対する講座を開催し啓発を行いました。 登録件数37件 成約件数15件				66	単町	
合計					20,445		
事業の主な実施状況							

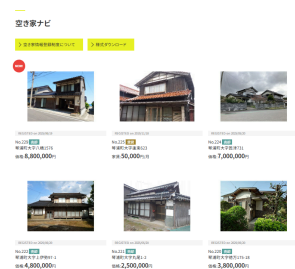
移住定住アドバイザーの配置

移住定住アドバイザーを1名雇用し、移住に関する相談対応、「空き家ナビ」の運営、県外移住相談会への参加等を行いました。（移住相談62件、空き家登録相談57件、空き家内見47件）

移住者向けホームページでのPR

【空き家ナビ】

町内の空き家を空き家ナビに登録し、ホームページで物件を紹介。利用希望者とのマッチングを行いました。（登録件数37件、成約件数15件）



【移住定住ホームページ】

移住定住ホームページで町内の暮らしや移住者を紹介し、移住希望者へ町の魅力をPRしました。



お試し住宅の利用

お試し住宅での宿泊を通して琴浦町の暮らしを体験していただきました。

本年度お試し住宅利用者のうち、1件移住に至りました。

利用期間		利用日数	人数	現住所（都道府県）
2024年4月2日	2024年5月1日	30	1	神奈川県茅ヶ崎市
2024年5月27日	2024年5月31日	5	4	鳥取市
2024年7月1日	2024年7月5日	5	1	東京都武蔵野市
2024年8月6日	2024年8月23日	18	2	北海道札幌市北区
2024年8月26日	2024年8月30日	5	3	愛知県一宮市他
2024年9月17日	2024年9月19日	3	3	大阪市住吉区
2024年10月1日	2024年10月31日	31	1	滋賀県甲賀市
2024年11月28日	2024年11月28日	1	5	鳥取市
2024年12月18日	2025年1月17日	31	3	神奈川県川崎市多摩区
		129	23	

	担当課による評価	B 進展が大きくない
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 補助金、奨励金の効果検証を行うことで、より効果的な制度検討の基礎データを収集します。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 関係者への意見聞き取りや話し合い等を継続的に行い、移住者や空き家のニーズ把握を行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 県外からの移住者数は減ったものの、移住者との定期的な交流や、空き家関係業者との意見交換など移住者や空き家関係者のニーズ把握を行い、対応しました。 空き家登録数、相談数が増加する中、空き家対策の啓発活動を行いました。</p>	
今後の取り組みの方向	空き家や新築に対する助成制度の新設から3年経過するため、これまでの意見交換やニーズ把握を活かした効果的な助成制度の検討が必要となります。	

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	414	事業名	関係人口創出事業		会計区分	一般会計
担当課	企画政策課	担当係	移住定住推進室		□新規 ■継続	
予算区分	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費
まちづくりビジョン	(1) 新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり		② 関係人口の拡大とつながりの強化			
	重点事業 若者の定住・Uターンへの足掛かりとなる「住まい」と「しごと」の環境整備					

年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	1,966	886	0	0	0	0	886

事業の目的 (なんのために) 移住定住はしないが、琴浦町に興味がある、遠方から関わりを持ちたい方を対象とした関係人口を増やします。様々な事業を通して、町と深い関わりを持つ方を「コトウラファンサポーター」として認定させていただき、外部の目線や知見を活かして、多くの町の課題を解決します。

細事業等	内容	決算額(千円)	財源内訳
コトウラファンサポーター	琴浦町に関心のある人をコトウラファンサポーターとして登録。登録いただいた方は、琴浦町により濃密な関係人口として関わっていただき、イベントの企画運営にも携わっていただきました。 ・新規登録者専用名刺作成1名分 4千円 ・担当者会旅費 59千円 ・ふるさと住民票運営負担金 50千円	113	単町
都市の若者とのマッチング支援補助金	琴浦町に訪れながら短期的に働く都市部の若者を積極的に募り、人材不足の解消と関係人口創出を図りました。受入事業者拡大のため事業者が負担する経費を助成しました。 都市の若者とのマッチング支援補助金 91千円	91	単町
琴浦会運営事業	琴浦町出身者で構成する琴浦会の運営及び交流会を開催しました。琴浦会会員へ町の情報を発信しました。 琴浦会 682千円 ・旅費 108千円 ・消耗品 81千円 ・印刷製本費 3千円 ・通信運搬費 10千円 ・使用料 157千円 ・借上料 323千円	682	単町
合計		886	

事業の主な実施状況

① コトウラファンサポーター

(一社)構想日本が提案する「ふるさと住民票制度」を活用し、本町のまちづくりに様々なかたちで関わっていただく方を「コトウラファンサポーター」として認定し、関係人口としてまちづくりに関わっていただきました。

コトウラファンサポーター登録者数 19名

コトウラファンサポーターの事業参画 8件

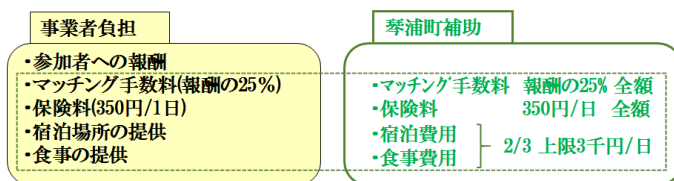


県外移住希望者向けイベントにファンサポーターが参画

② 都市の若者とのマッチング支援補助金

地方で働きたい若者と人手不足の事業者をつなぐマッチングサービス「おてつたび」を利用する事業者の負担を補助しました。

- ・マッチング手数料(報酬の25%)の10/10
- ・保険料(350円/日)の10/10
- ・滞在費(宿泊経費+食費)の2/3



■登録事業者 2者

■おてつたび参加者 5名

区分	旅人A	旅人B	旅人C	旅人D	旅人E
住所	島根県	大阪府	東京都	愛知県	千葉県
滞在期間	7/12-15	7/12-15	12/5-9	12/5-9	10/13-18
業務内容	キャンプ場 イベント業務全般	キャンプ場 イベント業務全般	キャンプ場 イベント業務全般	キャンプ場 イベント業務全般	ミニトマト収穫

「おてつたび」の受入事業者拡大のため事業者説明会を開催しました。

開催日 令和6年7月11日

参加者 4名



③ 琴浦会

琴浦町出身者で構成する琴浦会の運営及び交流会を開催しました。

琴浦会会員数：103人（東日本44人、西日本59人）

琴浦会西日本交流会を5年ぶりに開催しました。

開催日：令和6年11月2日

会場：大阪倶楽部会館

参加者：41名



	担当課による評価	A 相当程度進展あり
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コトウラファンサポーターの増加、より効果的な活用方法を見出す必要があります。 ・おてつたび受け入れ事業者を拡充する必要があります。 <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係人口事業など、琴浦町の取り組みに関わっていただいた関係者へ積極的にアプローチし、コトウラファンサポーターとして登録していただきました。 ・東京で開催した移住イベントや地域おこし協力隊お試しツアーにも携わるなど、関係人口として町に関わっていただきました。 ・おてつたび東京本社の担当者を招き、農家向けに事業説明会を実施しました。 <p>【担当課による評価の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市部でのイベントや町の事業でも携わってもらい、関係人口との交流を深めました。 ・おてつたびの新たな受け入れ事業者として農家の実績が生まれ、関係人口創出に繋がりました。 	
今後の取り組みの方向	<p>都市の若者とのマッチング支援補助金について、新規受け入れ事業者の拡充を図っていきます。</p> <p>コトウラファンサポーターの効果的な活用方法、関わり方や運営のあり方を見直します。</p> <p>二地域居住の推進を通じた関係人口の拡大と地域活性化を目指します。</p>	

令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1411	事業名	熱中小学校事業			会計区分	一般会計		
担当課	企画政策課		担当係	SDGs推進室		□新規 ■継続			
予算区分	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費			
まちづくりビジョン	(1) 新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり			② 関係人口の拡大とつながりの強化					
	重点事業								
年度	最終予算額	決算額		事業費財源内訳					
				国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	
令和6年度	3,299	3,299		0	0	3,299	0	0	
事業の目的 (なんのため に)	地域の人材育成と講師や生徒との交流による関係人口拡大のため、全国のトップランナーを講師陣として抱え、都市圏企業とのネットワークを構築している熱中小学校事業の運営を支援します。								
細事業等	内容					決算額 (千円)	財源内訳		
熱中小学校運営費補助金 【廃止】	補助金 3,299千円 「一般社団法人熱中ことうら」により熱中小学校事業が行われており、令和6年度は第11期、第12期の運営が行われました。 【第11期授業】4月～9月(月1回) 生徒数 個人60人 法人10社 (のべ279人が受講) 【第12期授業】10月～3月(月1回) 生徒数 個人61人 法人9社 (のべ296人が受講) 授業のほかにも生徒会活動が行われています。 町内の「椿の森」の保全作業を毎月実施し、美しい景観の維持活動が行われました。また、椿まつり(3月開催)の運営にも協力しています。 ・とっとり琴浦熱中小学校運営費補助金 3,299,000円					3,299	その他収入3,299(企業版ふるさと納税)		
合計						3,299			
事業の主な実施状況									
事業目的の達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり					
	【前年度の課題の概要】 引き続き自主財源の確保に取り組んでいく必要があります。また、授業による人材育成はもちろん、生徒会活動等による地域課題の解決にも取り組んでいくことが望まれます。								
	【前年度課題についての対応及び成果】 寄附による自主財源確保や新規法人会員の増加による生徒確保に取り組まれました。熱中小学校の授業だけでなく生徒会活動にも精力的に取り組まれました。								
	【担当課による評価の理由】 様々な分野で活躍されている講師を迎えて、魅力ある授業が行われています。また、リモート受講やオープンスクールなど新しい生徒の確保にも取り組まれています。 企業版ふるさと納税を活用し、町外企業からの寄附によって組織の運営資金を確保することで、都会から地方への資金の流れを生み出し、地域活性化につなげる取り組みも行っています。								
今後の取り組みの方向	熱中小学校事業だけではなく町内のまちづくり団体の活動を支援するため、ふるさと納税(個人版・企業版)を財源とした「琴浦町ふるさとまちづくり団体応援交付金」制度を創設しました。								

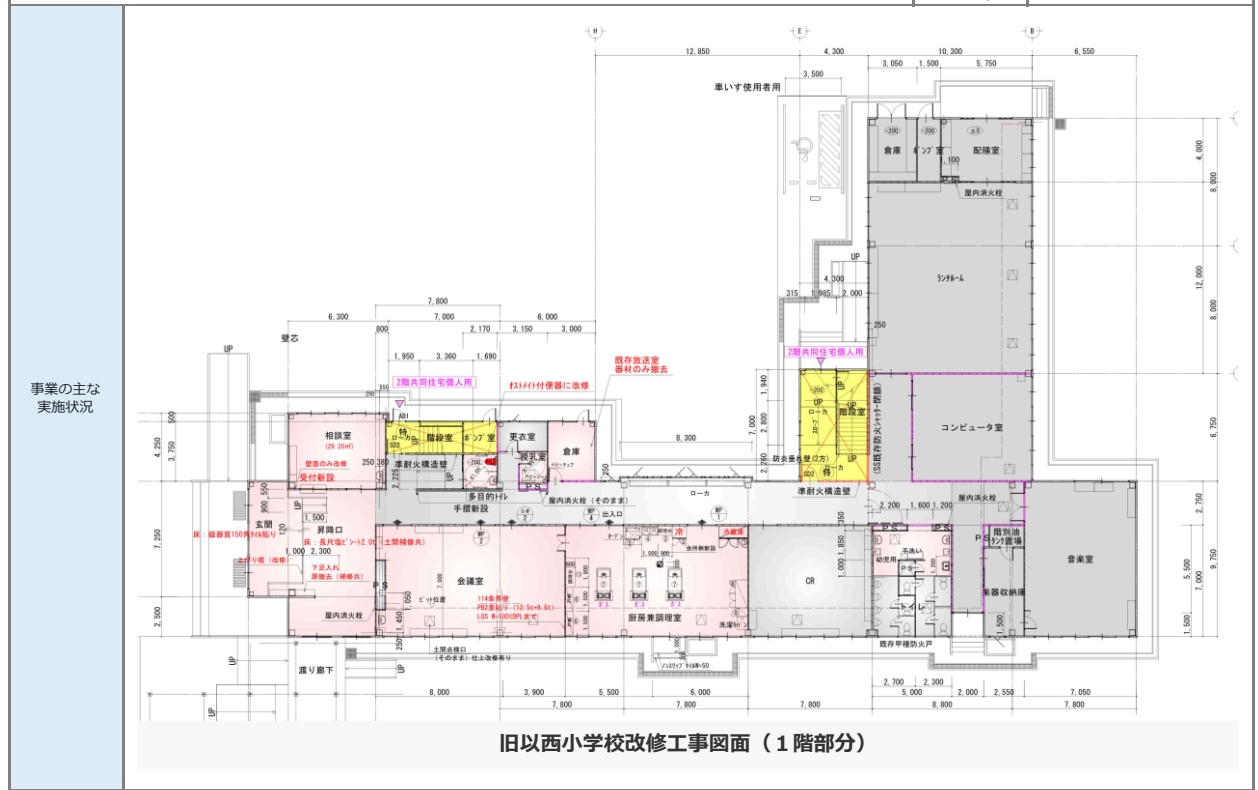
令和6年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1616	事業名	以西地区まちづくり事業		会計区分	一般会計	
担当課	企画政策課		担当係	SDGs推進室		■新規 □継続	
予算区分	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	8 地域振興費	
まちづくりビジョン	(6) 町民の声が届き、ともに創る未来のまちづくり			② 町民参画・協働の仕組みづくり			
	重点事業						

年度	最終予算額	決算額	事業費財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源
令和6年度	0	0	0	0	0	0	0
令和6年度(明許)	4,917	4,829	0	0	0	4,100	729

事業の目的
(なんのために)
公民館事業と地域振興事業をあわせて住民による地域づくり活動を主体的に行うため、以西地区においてモデル事業を行う。

細事業等	内容	決算額(千円)	財源内訳
旧以西小学校改修設計業務(明許繰越)	委託料 4,829千円 地区公民館機能と地域運営組織の活動拠点を集約し、地域活性化を図る拠点施設とした旧以西小学校の改修工事の実施設計を行いました。 ・旧以西小学校改修工事実施設計業務委託料 4,829,000円	4,829	過疎債4,100、町729
合計		4,829	



事業目的の達成状況	担当課による評価	A 相当程度進展あり
	【前年度の課題の概要】	
	【前年度課題についての対応及び成果】 地域住民で施設の活用について協議し、設計に反映しました。	
今後の取り組みの方向	【担当課による評価の理由】 地域住民の活動施設として、住民同士での協議を重ね設計を行いました。	
	令和7年度施設改修を行います。(主管課:社会教育課)	